

第2回白山市金沢総合車両所松任本所跡地活用検討委員会 議事概要

日時 令和6年11月30日（土）午後3時～

場所 松任文化会館ピーノ4階 401 研修室

出欠状況 出席18委員、オブザーバー（オンライン参加）

欠席5

（開会）15：00

（委員長あいさつ）

この委員会は7月に土地ビジョンを策定する目的で諮問をいただきスタートした。8月にはアンケートでどんな機能や施設が望ましいかを委員各位から多くの魅力的な提案をいただいた。

アンケートの意見は、非日常性か日常性か、ハレの場かケの場かに大別されると思う。例えば、地元の方々は、日常の居住環境や健康福祉施設、身近な公園など日常の生活環境の向上を期待する提案があった。一方、内外からの来街者は、アミューズメント施設やスポーツ施設、コンベンション施設、文化施設などの賑わい交流施設の提案もあった。

私自身も居住・商業業務機能だけでなく、情報・文化・交流・防災拠点と言った複合的機能や多世代が国際的にも文化交流できる広場や拠点施設も欲しいと書いた。非日常性と日常性、ワクワクする場とほっとする場のイイところ取りもできるかと思う。

明日学生と一緒に、鶴来のまちなかやジオパーク拠点をフィールドワークし、その改善点を検討する。白山市の各地域には、それぞれ個性豊かな自然歴史文化があるので、それを活かした計画にできればと思う。今回はアンケートの集計結果や先進事例を参考にしながら、魅力的なビジョンとなるよう皆さんとともに議論を深めたい。

（協議事項）

(1) アンケートの集計結果について（説明：事務局）

(2) 計画地区周辺の現状について（説明：事務局）

（委員からの意見聴取）

委員長 皆さんから意見を聞きたい。

委員 いくつかご提案をした。規模やロケーションやアクセスの良さを活かすために集会施設であるコンベンションを考えて提案した。また、日常的な人の賑わいを期待して大学キャンパスの誘致。それによって人の流れが出て賑わいの元になるのではないかと思う。

委員 地元としては防災センターとして小学校を使用するのは心もとないという思いが

ある。地震があつて町内での避難場所を考えた際に、体育館は近くになかった。小学校の体育館は遠くしかも1階建てであつた。市からは津波の被害はほとんど考えなくていいと説明はあつたが、家が潰れそうなときは2階建て以上で頑丈な建物に一晚だけでもいたいという意見が多くあつた。そこで防災の観点から体育館があればいいという意見を出した。

1月にあつた能登の地震で体育館に避難される方がいたために半年間使えなくなつた。中高生は7月まで体育館が使えない状況。6月に県体予選などがあつたが、代わりの会場が見つからないというような状況であつた。富山や福井には体育館は多くあり、白山市より人口の少ない氷見や小杉には3倍ほどの体育館がある。そういう体育館が用意できるのではないかと思う。同じような対応ができるのは石川県内ではスポーツセンターくらいしかないと思う。体育施設をもう一つ用意しておけば、大きな地震があつたときに地域の人も安心することができ、学生も大会に向けて体育館が使えないこともなくなると思う。

1月の地震のときには勤務している野々市の学校に避難所を開設した。津波の心配はなかつたものの、家が崩れそうで心配だとその避難所まで来た人は50人いた。町内の総会でも地域の人が不安に思う意見を聞いた。白山市くらいの人口があれば大きな体育施設ができるのではないかと思う。

元日の地震の際にはパニックになる人がガラスを割って入っていったという話があつたので、人が常駐している施設があればいいと思う。

委員長 体育館が使用できなかったのは、避難所となっていたからか、それとも設備の問題か。

委員 避難所として避難してきた人がずっといたために7月1日まで使えなかつたように思う。剣道場にも避難者の方がいらっしゃって、スポーツ少年団や中学生や剣道連盟の人などの利用も一切できなくなつた。

委員長 コンベンション施設や大学のキャンパス、防災施設としての体育館などが必要だという意見であつたかと思う。

委員 歩ける街づくりとライブハウス、フットボールパークということを書かせていただいた。若者たちが集ったりストレスを発散したりできる場所が白山市には少ないという意見をよく聞く。そういう施設が駅周辺にあればと思う。治安が悪くなることを心配する声も聞く、施設でストレス発散することで治安がもう少しよくなることも期待できると思う。

委員 コンベンションホールとジオパークを書いたが、白山吉野の工芸の里に巨大なセンターができると聞いたので、ジオパークは取り下げさせていただきたい。金沢市内や石川県内を見てもコンベンションホールがないため、富山、福井にあつて石川県にないコンベンションホールという意見にしたい。聞いたところによると、土壌が鉛や水銀で汚染されているのは間違いないらしい。それを除染して建物を建てると、お金

が高くなる事例がある。土壌がどのくらい汚染されているか、まず確認する必要があると思う。

委員長 土壌については先行して調査されていると思う。コンベンションについてもうまく活用されていくかどうかもある。

委員 まず交通の便を見ることが大事だと思う。先ほど別の委員がおっしゃっていたように防災のために体育館を一つ作るのはいいと思う。それ以外は平地でいいのではないと思う。年代によって変わることは多いが、施設を作ってしまうと応用が利かなくなってしまう。必要な防災施設を作って、あとは駐車場や公園のままとしておく。その他の場所は新しい年代の人に新しいものを作ってもらえればいいのではないと思う。公園も改良ができるようなものを作ればいいのではないと思う。

委員長 地震や豪雨などの災害があるので災害に関連した施設は一つの案だと思う。

委員 防災施設は町内の中でも意見があった。小学校はあるが、建物的に頼りない。建物自体は揺れに対応する建物であり、高さもあり、空調が効いていればいい。元日は寒がる人がたくさんいたので、空調が効いて頑丈な建物があれば心強いのではないと思う。線路から北側には小さい公園しかないので、ある程度の大きさの公園はいいと思う。

委員 人がたくさん集まる施設を作ってほしいと思う。人が集まるということは駐車場が必要になる。片側1車線だと混雑することになるので、まずは道路を広くする必要があるのではないと思う。先に駐車場のことを考えるのが必要だと思う。

委員 アンケートには防災設備がある体育館を挙げた。それと並行していろんな人が集まって会議や趣味の集まりができるホールがある場所、そして若い世代が住みたくなるような文化スポーツ施設を作ってほしいと書いた。また、駅から近いので駐車場の整備もしてほしいと書いた。

委員長 地元の人は特に防災の観点と若い世代の人のための施設という意見を挙げられている。

委員 所属組織に広く意見を募った上で多様な意見をアンケートに書いた。まずは、この立地だから作れるという観点を大事にしてほしいという意見があった。また、近隣住民の方が挙げている防災や利便性を否定するわけではないが、当該地域に閉じた空間を作るのではなく、駅北や駅南も含めた白山市松任地区自体の広域な魅力を高めて住民を増やしたり、白山に人が来たりするような魅力を生み出す整備が必要だという意見が多かったように思う。また、魅力を続けることができるような維持管理を考えたときに長い目で見える観点も必要なのではないかと思う。

委員 若い方や子育て世代に優しい土地利用をすることが賑わい創出に繋がると考えてアミューズメント施設を挙げた。また、この土地は鉄道の土地として歴史がある場所だと聞いていたので、鉄道に関するものを展示できる施設を作ることによって鉄道が好きなお子さんが来るようになるのではないかと考える。

委員 松任地区には子供を連れて遊びに行く場所がないので屋外遊具施設があればいいと思う。羽咋には LAKUNA はくいという施設があって、e スポーツができる場所や学習スペース、子どもたちが遊べるスペースがある。同じように子どもたちが遊べるような施設があるといいという意見があった。もう一つは、祝賀会などで集まれるような場所があればいいと思う。

委員 この近辺には博物館、美術館、体育館などに駐車場が足りておらず特に大きなイベントがあると部屋も足りず使えなくなることがよくある。全ての文化施設をここに移して駐車場も作ってほしいとアンケートには書いた。あるピアノの先生は文化会館は音響設備が悪く、楽団を呼ぶのも難しい状況と言っていたので、音響のいいところを作ってほしいという意見を書いた。

委員 屋内の遊戯施設とフットボールパークを書いた。保育所の遠足で行こうと思うと雨の日に行くところがない状況。加賀の施設は空きがなければ予約ができない状況なので、白山市内に子どもたちが雨の日遊びに行ける施設を作っていただきたい。それによって金沢駅から来られる立地にあるということはいいいのではないかと思います。

白山市にはヴィンセドールという全国を相手にしているスポーツの団体があります。北海道の方が応援に来ていたが、会場まで行くのが大変と言っていたので公共交通機関を利用して応援に行けるようなボールパークがあればいいと思う。フットボールパークはフットサルができる屋内のサッカー場をイメージしている。

委員 松任駅から交通の便のいいところだと思うので、プロも試合ができるような大きな体育館を作り、災害があったときには避難所となれるような設備も作ってほしいと思う。

外ではいろいろなアスレチックができて、プラネタリウムがあって中でも楽しめるような施設が作ればいいのではないかと思います。シンボルタワーとしてレストランなども作ると長居することができるようになると考える。お年寄りから子どもたちまで来られるような場所にできればと思う。

委員 以前は鉄道を管轄した松任を代表する施設であった。その歴史を踏まえて昭和を思い出すことができる場所だと思う。松任の町民として施設は残したいという思いがある。子どものための屋内施設という意見もあるが、子どもは外で自然と一緒に遊ぶことが大切だと思う。明治神宮では植林して 100 年ほど経って今のような形になっている。大きな森や昆虫が育つような照葉樹林、浅い小川など自然を将来の子どもたちに経験させられるような場にしたいと思う。建物を作るには経費がかかると思うので徐々に変えていくべきだと思う。また広い芝生や小山を作って子どもが遊べるような場になればいいと思う。夏はコンサートができるような場所、冬は冬の遊び場になるような場所とすればいいと思う。

委員長 昭和のエネルギーをレガシーとして残すのも大事な観点だと思う。

委員 行政の立場としては、民間活力の活用を期待したいと思う。また、ゾーニングの視

点も必要だと思う。

委員 駅に近い一等地にあるので、駅を利用して歩きたくなるようなまちづくりや駅の南北が一体となるようなＪＲを中心としたまちづくりをしていければと思う。

国（オブザーバー） 意見はいろいろあったが、まちづくりに関して国土交通省などの交付金を活用していただければと思う。

委員長 整備局だけでなく内閣府などいろいろある交付金を活用して事業化を前に進めていければと思う。最初に日常性と非日常性について話したが、地元の方々は災害が続いていることもあって、通常時は体育館や公園として利用して、非常時に防災施設として活用できるものを作りたいと考えているように感じた。

市全体の活性化のためには、市自体の魅力を増すためにコンベンションやアミューズメント施設、スポーツ施設などが考えられる。

また女性の立場、若者の立場、子どもの立場に立って、これから少子高齢化が進む中で若い子育て世代がうまく子育てをして、子どもたちがすくすく育っていければいいという考えであった。こう見ると意見のベクトルは同じ方向に向いてきたのではないかと思う。

(3) 他地区事例の紹介について（説明：コンサルタント）

（質疑）

委員 西金沢の ZEPP 予定地になっていたところは半分空き地になって残っているということか。計画が頓挫する場合もあるということか。

コンサル 他にも、進出して３年で撤退している会社はある。民間の施設であれば撤退する可能性もある。地域のニーズの変動を視野に入れることも考えられる。

事務局 今回は事例紹介であったが、次の検討委員会ではオブザーバーより全国の再開発等事業の事例を紹介いただくことは可能か。

国（オブザーバー） 了解。

（今後のスケジュールについて）（説明：中道室次長）

市 次回は今回の意見を受け、施設のイメージを具体化させ商業系や観光など複合的なものになると思われるがどういう基本方針で進めていくのかを協議していきたい。時期は来年２月を予定している。

（質疑）

委員 今ＪＲが工事をしていて、その連絡が遅いというのが松任地区の町会の意見であったので、工事内容と時間を近隣の町会に早めに連絡してほしいと思う。その旨をＪＲに連絡していただきたい。

事務局 JRでは敷地内の高圧地面設備、給水塔、木造設備などが発火するおそれがあるので順次撤去していると聞いている。地域の皆さんの意見はJRに伝える。

委員 2ページ左から2行目は体育館と防災施設はセットになっているが、防災施設はアンケート内容のどの施設にも機能として複合的に合わせられることができると思う。別々のものとしてもらった方がいいと思う。

事務局 取りまとめの際、分かりやすい資料としたい。

（その他）

委員 委員会開催の日程を早めに知らせてもらいたい。

事務局 了解。

（閉会）

（終了） 16：30